



がんばっています!

こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～



ドンカラエコクラブ (志摩市)

会員数32人 サポーター数18人

会員は小学1年生から、6年生、サポーターは20代から60代で構成されています。自治体の募集でつくったクラブです。

代表サポーターの
仲井裕子さんにインタビューしました。

☆ いつどのようにできたのですか？

もともと『ドンカラ放課後こども教室』というのがあって、週1回、絵手紙をつくるなどの活動をしていました。そのたびごとにこどもを募っていたので、「年間を通して、なんかモノがつかれへんかな」と考えていたんです。ちょうどそこへ、畑を貸してくれる方があらわれ、今年の6月から月に1回、活動を始めました。

☆ どのような活動をしていますか？

1年間使っていなかった15㎡の畑を耕しました。まず、草刈り。それから、うねをつくり、腐葉土をいれ、枝豆とさつまいもを植えました。草取りなどをへての枝豆は、おいしかったようで、こどもたちは皮まで食べそうな勢いでした(笑)。

最高に楽しいイベントだったのは、芋ほりです。親が虫に驚いて、「きゃー」と叫ぶと、こどもがパーンとはらいのける。たくましいものです。

今日は、農家の方からいただいたもみぐらをたき火にいれ、焼き芋大会をしているところです。火のまわりで、いたずらをしたこどもが、「火遊びしたら、アカン」と60代のサポーターにしかられているかと思うと、こっちは20代のサポーターと笑いあうという具合です。

☆ どのようなことを子どもたちに伝えたいですか？

この地域の豊かさです。山から腐葉土を運んだり、もみぐらをくださったり、たき火の場所をお借りしたり、この活動は、地域の人との協力があってこそのもので。

家でひとりでゲームをするより、地域のなかで、いろいろな人と積極的にかかわりながら、こどもが育っていけばいいな、と。環境の活動は、こうした地域をつくっていく道具だと思っています。志摩の磯部太鼓が「ドンカラ」と響くように、こどもたちと大人がいいリズムを奏でていければと思います。



こどもエコクラブの1年間の活動を壁新聞にまとめよう！ ～全国フェスティバルを目指そう！～

応募してくれた壁新聞は全部、来年3月29、30日に行われる「こどもエコクラブ全国フェスティバルin北九州」の会場で展示されるよ。そして、壁新聞をみたこどもエコクラブの仲間からメッセージが届くんだ。三重県選抜クラブになると、全国フェスティバルに招待されるよ！

壁新聞の作り方、提出の仕方については

「こどもエコクラブニュース秋号」や

ホームページ<http://www.eco.pref.mie.jp/forum/ecoclub/index.htm>をみてね。



昨年度の三重県選抜クラブ
員弁中学校3年選択理科

詳細は環境学習情報センターホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/forum/center/center1.htm>